

省エネ住宅開発に力

アイホーム(宮崎市)

住宅建設のアイホーム(宮崎)設。同社が手掛ける全館空調システム「マツハシステム」と併用することで、冬場の光熱費を大幅に削減できるといふ。

モデルハウスは、断熱性能を高め、エアコン1台で住宅の温度や湿度を一定に保つ「マツハ



アイホームが建設した太陽熱を有効利用する一戸建て住宅＝宮崎市島之内

冬場の光熱費削減効果

システム」を導入。太陽熱で空気を暖めるための空間として、2階部分に窓ガラスで囲んだバルコニーなどを設置している。

バルコニー内の温度は冬場の晴天時には30度に達する。暖められた空気を空調室に集め、そこから各部屋に風を送る。また、太陽熱で約70度に熱した水を給湯に使い、空気を暖めるための熱源としても利用する。

同社はモデルハウスの室温や外気温、エアコンの消費電力量などのデータを収集。それによると暖房(エアコン)を22度に設定したことと2月1日、外気温が氷点下に達した時間帯も含め、室内は終日20度以上を維持した。1日中稼働させても、エアコンにかかった電気代は71円だった。

田村社長は「省エネにこだわった家づくりを目指す。資材の仕入れ方法などを見直すことで、低価格で高品質な住宅を提供できる仕組みづくりも進めている」と話している。

地域経済活性化へ連携

都城市と宮銀、包括協定

都城市と宮崎銀行は20日、地域経済の活性化などを目的とした包括連携協定を結んだ。同行と市町村による同協定の締結は初。政府が推進する

両者は①地域経済の活性化②防災・災害時の支援③青少年の健全育成や高齢者などへの支援④地域社会の活性化・市民サービスの向上への4分野において連携を図る。

同行は地方創生へ向けた取り組みを強化するため、4月に「地域振興室」を新設。自治体による地方版総合戦略の策定を支援することにより、今回の協定に基づく連携

があり、池田宜永市長が「宮崎銀行が持つさまざまなツールを私たちが行政、地域のために今以上に生かしていただければ」と協定を活用したいと

「郷土と共にある地方銀行」として市民の信頼と期待に応えたい」と述べた。同行は昨年2月に県と同協

東九州道の開通 記念し共同企画

宮銀と大分銀

東九州自動車道宮崎—大分の開通(21日)を記念し、宮崎銀行と大分銀行(大分市)は23日から共同で「東九州ハイウェイ ツーリズム キャンペーン」を実施する。5月29日まで。

本県、大分の特産品や東九州道で行くバス旅行などが当たる懸賞付き定期預金キャンペーン。

人事異動

◇宮崎太陽銀行(4月1日)
 融資部起業支援G長 川部部長
 融資部起業支援G副部長 岩本裕茂
 営業統括部地域産業支援室長 同(営業統括部ソリューション営業推進G副部長) 上野哲弘
 経営企画部副部長(延岡支店) 安藤和慶
 監査部主任部長代理(営業統括部企画・推進G主任部長代理) 大谷典弘
 営業統括部企画・推進G主任部長代理(南支店) 戸高直樹
 人事部付部長代理(監査部長代理) 河野寛幸
 融資部起業支援G部長代理(青島支店) 竹上清一郎
 人事部部長代理(人事部付部長代理) 山口功
 同部付部長代理(融資部融資G部長代理) 宮下典泰
 融資部融資G部長代理(経営企画部リスク管理G部長代理) 渡辺通
 監査部長代理(油津支店) 藤本康司
 融資部融資G部長代理(佐伯支店) 湯地貞純
 同部付部長代理(都城北支店) 河野一郎
 監査部長代理(営業統括部企画・推進G部長代理) 中田成子
 営業統括部地域産業支援室部長代理(同) 和田孝
 融資部融資G部長代理(人事部部長代理) 一見敦隆
 営業統括部地域産業支援室部長代理(営業統括部ソリューション営業推進G部長代理) 野崎正和
 同部企画・推進G部長代理(住吉支店) 樺野秀敏
 同部地域産業支援室部長代理(営業統括部ソリューション営業推進G副) 佐藤龍史
 融資部融資G部長代理(本店営業部課長) 杉尾裕
 営業統括部地域産業支援室部長代理(都城支店) 東園岳
 延岡支店(西都支店) 井川恭久
 南支店(大塚支店) 佐藤清文
 西都支店(赤江支店) 平嶋俊和
 油津支店(高鍋支店) 井上雅浩
 門川支店(清武支店) 出口圭
 佐伯支店(国富支店) 黒木智
 大塚支店(福岡支店) 倉爪智
 赤江支店(高千

ペーン。預入金額10万円につき1口で、期間は1年以上。当選通知は7月を予定。

両行営業店でも観光パンフレットを配布するほか、両行本店営業部で観光ポスターなどを展示するロビー展を開催し互いの観光をPRする。

また、宮銀カード(宮崎市)と大分カード(大分市)も両県の特産品やJCBギフトカードが当たるキャンペーンも共同で実施。21日〜6月30日、延岡、日向市、高千穂